

シリーズ：子どもの権利

子どもの視線で公園チェック！

NO.19

せんなん子ども会議の今年の活動は「公園プロジェクト」でまとまりました。身近な公園めぐりをして、気が付いたことをまとめたり、必要なポスターをつくったり、ごみ拾いをするなどの活動を計画しています。6月の会議では、公園めぐりをするにあたって何をチェックするかを出し合いました。

- らくがきがないか
- ごみが落ちていないか。ごみ箱があるか。掃除がされているか
- 木でできているものは、とげが刺さらないか
- フェンスに穴があいていないか
- ベンチがあるか。壊れていないか
- 自転車をどこにとめるか
- 草がいっぱい生えていないか
- さびしくないか
- 使い方のルールを書いてあるか
- いじめている人がないか。まいごはいないか
- ひとりじめしている人がいないか
- 花を散らしていないか
- 動物はこないか
- 明かりがあるか
- ボール遊びができるか
- 雨宿りをするとところがあるか
- 時計はあるか。壊れていないか
- ぶらんこの鎖がねじれていないか。高さはちょうどよいか



このようなたくさんの意見が出ました。動物はこないかなどの意見は、最近のイノシシや熊が出たと言うニュースを反映しているようです。子どもの目でチェックするとともに、どんな内容をポスターとして発信していくかも、考えていきたいと思います。また、お気に入りの場所やすてきなところも探していきたいと思います。



さて、今年の子ども会議のルールが決まりました。「こんにちはとあいさつをしよう」「どんな時でも」「目的をもち」「のりのりで行こう」「けんかはなしで」「う～んと困っていたら」「りんりん」と助けにいこう」です。頭文字をつなげると「こどものけんり」になります。「りんりん」とは、自転車にのっていくイメージで、すぐに、ささっと、ほっておかない、という意味だそうです。

【問合せ】 泉南市子どもの権利に関する条例事務局
(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 /
e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)